

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社AKIBAホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6840 U R L <https://www.akiba-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀 礼一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 五十嵐 英 T E L 03-3541-5068
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 16,914	% 38.2	百万円 563	% 59.9	百万円 556	% 79.2	百万円 332	% 632.9
2025年3月期第3四半期	12,243	12.2	352	△34.0	310	△42.0	45	△85.6

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 394百万円 (449.1%) 2025年3月期第3四半期 71百万円 (△79.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 36.15	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	4.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
2026年3月期第3四半期	百万円 15,041		百万円 4,372		% 25.7	
2025年3月期	13,627		3,978		25.9	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 3,868百万円 2025年3月期 3,531百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
通期	百万円 25,500	% 39.6	百万円 900	% 25.7	百万円 800	% 20.8	百万円 530	% 372.1	円 銭 57.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3 Q	9,192,560株	2025年3月期	9,192,560株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3 Q	7,980株	2025年3月期	7,980株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3 Q	9,184,580株	2025年3月期 3 Q	9,184,580株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調が続きましたが、海外景気の下振れリスクや不安定な為替相場の動向、地政学リスク、物価上昇の影響など、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は、16,914百万円（前年同期比38.2%増）、売上総利益は2,966百万円（前年同期比11.1%増）となりました。販売費及び一般管理費は、2,403百万円（前年同期比3.7%増）となり、営業利益は563百万円（前年同期比59.9%増）、経常利益は556百万円（前年同期比79.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は332百万円（前年同期比632.9%増）となりました。

(単位：千円)

財務諸表科目	2025年3月期 第3四半期連結 累計期間	2026年3月期 第3四半期連結 累計期間	前期比
売上高	12,243,317	16,914,970	38.2%
売上原価	9,572,815	13,948,020	45.7%
売上総利益	2,670,502	2,966,950	11.1%
販売費及び一般管理費	2,317,860	2,403,005	3.7%
営業利益	352,642	563,944	59.9%
営業外収益	19,317	62,681	224.5%
営業外費用	61,382	70,189	14.3%
経常利益	310,576	556,436	79.2%
特別利益	—	—	—
特別損失	150,000	—	—
税金等調整前四半期純利益	160,576	556,436	246.5%
法人税等合計	89,584	166,059	85.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,302	332,030	632.9%

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① メモリ・PC関連デバイス・IoT事業

メモリ・PC関連デバイス・IoT事業セグメントにおきましては、主力のPC関連デバイス（メモリ製品）において、生成AIの普及拡大に伴うデータセンター需要の急増や主要なDRAM製品（DDR4等）のメーカー生産終了（EOL）に起因する需給ひっ迫を背景に、市場価格の高騰に伴い販売単価が上昇いたしました。この価格上昇効果に加え、Windows 11移行に伴う底堅い法人PCの更新需要や、大口顧客からの大型案件の増加により、第3四半期会計期間の売上高が飛躍的に伸長いたしました。営業利益につきましては、世界的な需給ひっ迫に伴う製品調達コストの急騰や、急激な円安進行による輸入仕入価格の上昇が利益率を圧迫する要因となり、一時期の収益性に影響を及ぼしましたが、販売価格への転嫁等の対策に加え、これらを補う大幅な増収効果が寄与し、結果として事業セグメント全体の黒字転換及び利益拡大を牽引いたしました。

IoT事業におきましては、顧客への受託開発案件の提案の継続により案件受注が積みあがってきている中、一部案件における検査時期のズレ込みが発生しましたが、既存案件が堅調に推移したことから、第3四半期会計期間について、売上高及び利益ともに前年同四半期と同水準となりました。また、新規商材のサービス化を進めしており、来期以降の収益拡大に向けた取り組みを推進しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,102百万円（前年同期比80.3%増）、営業利益は63百万円（前年同期は83百万円の営業損失）となりました。

② 通信建設テック事業

通信建設テック事業におきましては、主力事業会社である株式会社バディネットについては、主要顧客である通信キャリア向け屋内電波対策工事において、一定の工事完了件数を確保するとともに、人手不足を背景としたサービスロボット関連の導入・保守、防犯・監視ニーズによるクラウド型カメラ設置事業等が拡大基調で進捗しました。また、コンタクトセンター事業におけるアルコールチェック代行サービス等も安定した収益基盤として事業セグメント全体の収益の安定に貢献いたしました。再生可能エネルギー関連については、中長期的な業績寄与に向けて案件受注活動を推進しており、受注高は積みあがってきているものの、大型案件の検収時期が第4四半期以降になったため、第3四半期会計期間の売上高は、前年同四半期を下回る結果となりました。

株式会社プランチテクノについては、中部エリアにおける通信キャリアの基地局関連工事において、案件が順調に推移したことにより加え、バディネットとの連携によるグループシナジーを活かした案件推進が進捗したことにより、当事業セグメント全体における第3四半期累計期間の売上高は前年同期比で増収を確保いたしました。

営業利益につきましては、主力顧客からの工事件数確保、サービスロボット関連事業、クラウド型カメラ設置事業、コンタクトセンター事業のアルコールチェック代行サービス等の堅調な推移が収益基盤の安定に貢献しました。その中で、将来の事業拡大を見据えた体制強化のため人員採用を強化したこと等により、販売費及び一般管理費が増加しているとともに、当第3四半期会計期間における再生可能エネルギーの大型案件の検収時期が第4四半期以降になったため、当第3四半期累計期間において減益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,385百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は186百万円（前年同期比26.1%減）となりました。

③ HPC事業

HPC事業におきましては、生成AIの社会実装が進展し、大学・官公庁の研究機関や民間企業におけるAI開発・計算基盤への投資意欲が高い水準で推移しております。そのような事業環境の中、売上高については、メーカーと連携した大規模セミナーの開催や主要な学会・展示会への出展等、主要顧客層との継続的な関係強化に努めた結果、大型案件を含む受注獲得が堅調に推移しました。

営業利益につきましては、セミナーや学会等を通じた継続的な販促活動が受注に繋がったことに加え、大型案件の粗利率水準も維持することができました。また、円安進行による仕入コストへの影響等に適切に対応したことにより、前年同期比で大幅な増益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,201百万円（前年同期比24.3%増）、営業利益は268百万円（前年同期比128.7%増）となりました。

(単位：千円)

	2025年3月期 第3四半期連結 累計期間	2026年3月期 第3四半期連結 累計期間	前期比
メモリ・PC関連デバイス・IoT事業			
売上高	5,049,143	9,102,986	80.3%
営業利益又は営業損失	△83,455	63,699	—
通信建設テック事業			
売上高	5,238,789	5,385,358	2.8%
営業利益	252,929	186,846	△26.1%
HPC事業			
売上高	1,771,820	2,201,573	24.3%
営業利益	117,488	268,670	128.7%

(2) 当四半期の財政状態の概況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は14,106百万円となり、前連結会計年度末12,657百万円と比べ1,449百万円増加いたしました。

主な増減内訳として、第4四半期に向けた販売活動が活発化したことにより、受取手形、売掛金及び契約資産が960百万円増加、商品及び製品が675百万円増加、原材料が220百万円増加、仕掛品が321百万円増加いたしました。現金及び預金につきましては、借入金の返済が進んだことなどにより、1,014百万円減少いたしました。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は934百万円となり、前連結会計年度末970百万円と比べ35百万円減少いたしました。

主な増減内訳として、減価償却及びのれんの償却の進捗により、のれんが22百万円減少、ソフトウェアが15百万円減少いたしました。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は8,394百万円となり、前連結会計年度末6,817百万円と比べ1,576百万円増加いたしました。

主な増減内訳として、第4四半期の販売等に向けた仕入の増加により買掛金が2,037百万円増加いたしました。一方で、短期借入金が278百万円減少、1年内返済予定の長期借入金が72百万円減少いたしました。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は2,275百万円となり、前連結会計年度末2,832百万円と比べ557百万円減少いたしました。

主な増減内訳として、財務基盤の強化の観点から計画的な返済を進め、長期借入金が540百万円減少したほか、社債が30百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は4,372百万円となり、前連結会計年度末3,978百万円と比べ394百万円増加いたしました。

主な増減内訳は、利益剰余金の増加332百万円であります。

(単位：百万円)

	前連結 会計年度末 (2025年3月31日)	当第3四半期連結 会計期間末 (2025年12月31日)	増減額	主な増減理由
流動資産	12,657	14,106	1,449	現金及び預金△1,014、受取手形、売掛金及び契約資産+960、商品及び製品+675、仕掛品+321、原材料+220
固定資産	970	934	△35	ソフトウェア△15、のれん△22
資産合計	13,627	15,041	1,413	—
流動負債	6,817	8,394	1,576	買掛金+2,037、短期借入金△278、1年内返済予定の長期借入金△72
固定負債	2,832	2,275	△557	長期借入金△540、社債△30
負債合計	9,649	10,669	1,019	—
純資産合計	3,978	4,372	394	利益剰余金+332
負債純資産合計	13,627	15,041	1,413	—

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月14日に公表いたしました2026年3月期通期連結業績予想について、修正を行っております。詳細につきましては、本日、別途開示しております「2026年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,369,166	4,354,950
受取手形、売掛金及び契約資産	5,243,778	6,204,135
商品及び製品	912,374	1,587,968
原材料	95,796	316,374
仕掛品	420,809	742,704
販売用不動産	791,758	791,758
その他	153,315	422,472
貸倒引当金	△329,356	△313,371
流動資産合計	12,657,642	14,106,993
固定資産		
有形固定資産		
建物	268,476	271,920
減価償却累計額	△90,381	△88,709
建物（純額）	178,094	183,210
機械及び装置	20,254	—
減価償却累計額	△20,254	—
機械及び装置（純額）	—	—
車両運搬具	59,061	11,437
減価償却累計額	△58,401	△10,886
車両運搬具（純額）	659	551
工具、器具及び備品	213,376	221,835
減価償却累計額	△175,042	△188,963
工具、器具及び備品（純額）	38,334	32,871
土地	37,730	37,730
リース資産	16,146	4,932
減価償却累計額	△13,491	△2,932
リース資産（純額）	2,654	1,999
有形固定資産合計	257,474	256,363
無形固定資産		
のれん	116,095	93,596
ソフトウェア	116,491	100,554
ソフトウェア仮勘定	48,943	43,760
無形固定資産合計	281,529	237,910
投資その他の資産		
長期未収入金	25,424	25,424
繰延税金資産	177,743	159,041
その他	253,496	281,402
貸倒引当金	△25,424	△25,424
投資その他の資産合計	431,240	440,444
固定資産合計	970,244	934,718
資産合計	13,627,886	15,041,711

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流动負債		
買掛金	1,403,112	3,440,369
短期借入金	3,650,000	3,372,000
1年内返済予定の長期借入金	993,540	921,341
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払法人税等	43,909	66,201
賞与引当金	135,926	119,983
役員賞与引当金	15,300	—
その他	515,815	414,109
流动負債合計	6,817,602	8,394,005
固定負債		
長期借入金	2,397,416	1,856,565
社債	240,000	210,000
退職給付に係る負債	75,926	80,184
資産除去債務	68,036	68,036
その他	50,871	60,264
固定負債合計	2,832,250	2,275,050
負債合計	9,649,853	10,669,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	783,900	783,900
利益剰余金	2,650,148	2,982,179
自己株式	△2,505	△2,505
株主資本合計	3,531,544	3,863,575
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	260	4,506
その他の包括利益累計額合計	260	4,506
非支配株主持分	446,228	504,574
純資産合計	3,978,033	4,372,655
負債純資産合計	13,627,886	15,041,711

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	12,243,317	16,914,970
売上原価	9,572,815	13,948,020
売上総利益	2,670,502	2,966,950
販売費及び一般管理費	2,317,860	2,403,005
営業利益	352,642	563,944
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,231	5,202
為替差益	—	48,507
業務受託料	—	200
受取家賃	3,213	3,177
補助金収入	1,270	1,582
雑収入	12,602	4,010
営業外収益合計	19,317	62,681
営業外費用		
支払利息	31,962	67,535
為替差損	14,179	—
支払手数料	319	1,216
雑損失	14,920	1,437
営業外費用合計	61,382	70,189
経常利益	310,576	556,436
特別損失		
貸倒引当金繰入額	150,000	—
特別損失合計	150,000	—
税金等調整前四半期純利益	160,576	556,436
法人税、住民税及び事業税	114,374	149,602
法人税等調整額	△24,789	16,456
法人税等合計	89,584	166,059
四半期純利益	70,992	390,376
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,689	58,346
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,302	332,030

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	70,992	390,376
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	871	4,245
その他の包括利益合計	871	4,245
四半期包括利益	71,863	394,622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,174	336,276
非支配株主に係る四半期包括利益	25,689	58,346

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3.	調整額 (注) 2.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1.
	メモリ・PC関連デバイス・IoT事業	通信建設テック事業	HPC事業	小計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	5,032,192	5,236,424	1,756,036	12,024,653	218,663	—	12,243,317
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,032,192	5,236,424	1,756,036	12,024,653	218,663	—	12,243,317
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,950	2,364	15,784	35,099	—	△35,099	—
計	5,049,143	5,238,789	1,771,820	12,059,752	218,663	△35,099	12,243,317
セグメント利益又は損失(△)	△83,455	252,929	117,488	286,962	12,007	53,672	352,642

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額53,672千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△329,852千円及びその他調整額383,525千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。その他調整額は、主にセグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料等の消去であります。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「通信建設テック事業」セグメントにおいて、株式会社ブランチテクノの全株式を取得し、連結子会社としております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当四半期連結累計期間においては、133,708千円であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3.	調整額 (注) 2.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1.
	メモリ・PC関連デバイス・IoT事業	通信建設テック事業	HPC事業	小計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	9,101,486	5,383,475	2,201,573	16,686,535	228,434	—	16,914,970
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,101,486	5,383,475	2,201,573	16,686,535	228,434	—	16,914,970
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,500	1,883	—	3,383	—	△3,383	—
計	9,102,986	5,385,358	2,201,573	16,689,918	228,434	△3,383	16,914,970
セグメント利益又は損失(△)	63,699	186,846	268,670	519,216	△1,234	45,961	563,944

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額45,961千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用

△325,183千円及びその他調整額371,144千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。その他調整額は、主にセグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料等の消去であります。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	61,749千円	58,776千円
のれん償却額	15,813千円	22,499千円